

みんなで支えあい みんなでつくる
住みよいみんなの“よしみ”

地域づくり計画

～ 人が輝き 地域が輝く ～



丹波市市島町吉見地区

はじめに

- 1 地区の概要 p 1
- 2 地域づくり計画の策定にあたって p 1

全体的な将来像

- 1 基本理念 p 2
- 2 地域づくりの進め方の基本的な考え方 p 2

地域づくり計画の内容

- 1 地区の現状と課題 p 2
- 2 取組のテーマ p 3
- 3 主な取組内容 p 4
- 4 地域づくり計画の期間 p 5

- お わ り に p 6

はじめに

1 地区の概要

吉見地区は、市島地域の中央部に位置し、国道 175 号線、竹田川と JR 福知山線が南北に縦断しており、当地域の日常生活圏の中核として形成されてきました。緑と水が美しい豊かな自然に恵まれ、古くからの文化と伝統が息づいている地区でもあります。

東部高台には三ツ塚廃寺跡があり、史跡公園として国の指定を受けています。当公園にはその当時の丹波市婦人会の主宰による福祉梅林と花しょうぶ園があり、季節の訪れとともに花が咲き誇っています。また、当公園を主会場として、5 月には丹波市三ツ塚マラソン大会が、6 月には市島町三ツ塚花しょうぶまつりが催されています。隣接して鹿集城址があり、今は丹波市立市島中学校となっています。

西部高台には恵比須神社があり、1 月 9・10 日の例祭では幸や福を求める参拝者で賑わっています。7 月 29 日には竹田川で川裾祭が催され、市民の花火とレーザービームが夜空を彩っています。

また、各集落には鎮守の森があり季節ごとの祭事が行われ、地名や字名からもういにしへの跡を偲ばせるものがあります。

当地区は、昭和 30 年の町村合併以前から、“相互扶助”の精神を尊重し、各集落を核にして地域づくりに取り組んできました。また、合併によって吉見村が解村したことにより吉見地区自治振興会を組織し、地区を上げてさまざまな行政課題に取り組んできた歴史もあります。

その気風は、今も少なからず残っています。吉見地区自治振興会のもと、梶原、上田、市島、藤野、上垣及び北岡本の 6 自治会が連携・協力して、地域づくりの基盤となる「健康」、「環境」及び「教育」等に関する取組を推進し、ともに助け合う地域コミュニティの構築に努めています。

2 地域づくり計画の策定にあたって

吉見地区では、これまでから地区を上げて住みよい地域づくりに取り組んできました。

しかしながら、人口の減少と少子・高齢化が進んでおり、このことに伴って、地域の不活性化が懸念されるなどのさまざまな課題が生じています。

また、社会基盤の整備が進むなかで生活が便利になってきたこともあり、住民の意識変化もうかがえます。住民間のコミュニケーションの希薄化が、地域づくりへの参画意識に影響を与えていることが懸念されます。

これらのことを少しでも克服しながら、今までの取組の成果を継承・発展させるため、今後の地域づくりの方向性を示す指針として、この計画を策定しました。

全体的な将来像

1 基本理念

みんなで支えあい みんなでつくる
住みよいみんなの“よしみ”

～ 人が輝き 地域が輝く ～

これまでから、吉見地区では“相互扶助”の精神の下、住みよい地域づくりに取り組んできました。

今回の地域づくり計画では、この精神を引き継ぎ、さらにその取組を推し進めます。地区住民がお互いに助け合い、みんなで力を出し合って、誰もが住みよいと感じられる、みんなの“よしみ”づくりを目標とします。

住民一人一人が日常生活の中で潤いを感じ、いきいきと輝いて活動し、このことが地域の活性化を促し、輝きのある地域になることを願っています。

2 地域づくりの進め方の基本的な考え方

- ① 地区内の自治会や各種団体の自主的な取組を尊重するとともに、相互の連携・協力関係を構築し、地区としての一体感を保ちながら進めます。
- ② これまでから地域コミュニティが培ってきた、“共助の力”を大切にします。
- ③ 住みよい地域づくりのための課題については継続的に取り組むこととし、このために必要となる人材の育成に努めます。

地域づくり計画の内容

1 地区の現状と課題

前述のように、吉見地区ではこれまでから“相互扶助”の精神の下、各集落を核にして地域づくりに取り組んできました。また、さまざまな行政課題にも地区を上げて取り組んできました。その気風は、今も少なからず残っています。

しかしながら、時代の流れとともに新たな課題が生じており、住民の意識変化もうかがわれるようになってきました。

吉見村が解村する直前の昭和 29 年の地区人口は 2,455 人でしたが、平成 27 年には 2,074 人となり、約 60 年間で約 16%減少しています。また、小学校児童数は 329 人から 93 人(約 28%)に減少しています。しかしながら、丹波市の推計によれば、20 年後の人口は 1,702 人になり、今よりも約 18%減少すると見込ま

れています。同様に、小中学生数は234人から218人(約7%)に減少すると見込まれています。このような人口の減少傾向は、住民の意識変化と相まって、地区の活力を保持し、地域づくりを推進していく上で阻害要因となっていることが懸念されます。

しかし、時や場所を超えて、“住みよい地域”は住民が願いとするところです。このためには、近年の自然災害や生活環境の変化に即した安全・安心の確保、美しい環境の保全、健康や福祉の増進、伝統文化の継承と教育の充実、地区活力の向上等は、地域コミュニティを保持する上でも、避けて通れない課題となります。

また、これらの課題に積極的に取り組んでいくためには、自治振興会、自治会及び各種団体の機能の充実と相互間の連携・協力を必要とし、将来にわたって中核となって活動できる人材の育成も大きな課題となります。

さらには、大きな行政課題として、元吉見こども園の跡地の処理があります。住民の篤志によってできたこども園であり、新たな活用法を検討し、実行に移していかなければなりません。

同様に、児童数の減少に伴って小規模化傾向にある市島地域内小学校の教育の在り方について、現状を分析し、将来像を検討していかなければなりません。

2 取組のテーマ

(1) 安全・安心な地域づくり

- ① 防災センター機能の充実を図ります。
- ② 防犯活動に取り組めます。

(2) 美しい地域づくり

- ① ごみの不法投棄の防止、花づくりなどの環境美化活動に取り組めます。

(3) 心豊かな地域づくり

- ① 高齢者福祉を支援します。
- ② 次世代を担う子どもの育成に努めます。
- ③ 伝統文化の継承や教育講演会・学習会の実施に努めます。

(4) 元気な地域づくり

- ① 健康・体力づくりに努めます。
- ② 地域の活力を生み出す事業や施策を実施します。
- ③ 自治振興会や自治会の機能の充実を図ります。

(5) 特別課題

- ① 地域の活力を生み出す事業や施策を通して、地域づくりの中核となる人づくりに努めます。
- ② 元吉見こども園の園地と園舎の活用を検討し、実行に移します。
- ③ 地域における小学校教育の在り方について検討します。

3 主な取組内容

テーマ	領 域 (分 野)	項 目	関 係 団 体
(1) 安全・安心な地域づくり	防 災	啓発活動、連絡調整等	自治会・消防団
		防災訓練・講演会の実施	自治会・消防団
		防災マップの作成	自治会・消防団・PTA
		各世帯査察・啓発ビラの配布	消防団
	防犯・交通安全	地域安全旬間の設定、啓発看板等の設置	自治会・防犯G
		子ども見守り運動の実施	自治会・PTA・防犯G
		防犯パトロールの実施	防犯G・PTA・警察
		防犯ネットの構築	防犯G・PTA
		危険個所の点検	自治会
		飛び出し防止看板の設置	自治会
		防犯カメラ・防犯灯の設置推進	自治会
		年末警戒	消防団
(2) 美しい地域づくり	環 境 美 化	花づくり運動	自治会
		ごみの不法投棄防止	自治会
		一斉クリーン作戦	自治会
		ごみの分別活動	自治会
		河川環境整備	自治会
		害虫駆除(草焼き)	自治会・農会
		水路の管理	自治会・農会
(3) 心豊かな地域づくり	高齢者福祉	高齢者見守り活動(独居老人訪問)の実施	自治会・民生委員
		生きがいづくり・いきいきサロンの実施	自治会・民生委員
		敬老会の開催	自治会
		ボランティアグループの支援	ボランティアグループ
	子ども支援(子育て)	よしみ友愛塾等の実施	子供会・PTA
		子ども会活動の支援	自治会・PTA
		子育てネットの構築	子供会・PTA・学校園
	文 化 ・ 教 育	伝統行事の継承	実施団体
		人権学習の実施	自治公民館
		文化祭・芸能大会の開催	自治公民館
		文化教室の開催	自治公民館

テーマ	領 域 (分 野)	項 目	関 係 団 体
(4) 元 気 な 地 域 づ く り	健 康 ・ 体 力	各種スポーツ大会の開催	スポ21・自治公民館
		ラジオ体操の実施	自治会・子供会
		市民運動会の開催	ス ポ 21
		健康講座の実施	自治会
		各種健康体操の実施	自治会・自治公民館
	地域の活力 (イベント)	★市島町三ツ塚花しょうぶまつりの開催	実行委員会
		★堤防まつりの開催	実行委員会
		自治会内のまつり・イベント	自治会・実施団体
	地域の活力 (地場産業)	農地保全・農業施設管理	農会
		木の駅プロジェクトの推進	自治会
		農産物のブランド化	農会・NPO
	活性化・機能充実 (自治振・自治会)	★自治会間の若者の交流支援	自治会・各種団体
		男女共同参画の推進	自治会
		自治会、各種団体の活動支援	自治会・各種団体
		★友愛センター・広場の充実	自治会・各種団体
(5) 特 別 課 題	ひとづくり	★印の取組を通した、地域づくりの中核となる人材の育成	自治会・各種グループ
	元吉見こども園跡地活用の検討及び実施		
	地域における教育の在り方についての検討		

「防犯G」……吉見地区防犯グループ

「スポ21」……スポーツクラブ21吉見

4 地域づくり計画の期間

- (1) この計画は、前回の計画期間(平成 24 年度～平成 27 年度)に引き続き、おおむね 10 年後の吉見地区の将来像を見据えながら進めることとします。
- (2) この計画の内容の多くは、期間を通じて継続的に取り組まなければならないものです。
- (3) この計画は、社会情勢の変化や住民要望に柔軟に対応することも必要であり、期間中途での変更もありうるものとします。
- (4) この計画の中で、元吉見こども園跡地の活用についての検討と実施、地域における教育の在り方の検討については、早期に対応する必要があります。

おわりに

今回の地域づくり計画の策定にあたっては、これまで自治振興会に置いていた諸問題検討部会の中に新たに「地域づくり検討部会」を設け、地区内自治会の代表である自治振興会理事で協議・検討してきました。

ここでは、今まで地区全体や自治会内などで行ってきた取組の一つ一つを取り上げながら、住みよい地域づくりのため、さらに積極的に行う必要がある取組や新たに必要とする取組を洗い出しました。これらのさまざまな取組を分類し、体系的にとりまとめてテーマを設定しました。そして、各テーマに沿って取組を進めていく上で、求める吉見地区の将来像「みんなで支えあい みんなでつくる 住みよいみんなの“よしみ”」を地域づくりの理念とし、「人が輝き 地域が輝く」を地域づくりのスローガンとしました。

計画策定の過程で常に話題となったのが、地区の「沈滞ムード」の打破であり、そのために、中核となって活動できる「人材」の育成でした。地区のムードを高める手立ての一つとして、「市島町三ツ塚花しょうぶまつり」や「堤防まつり」を継続的に開催することが必要であり、まずはこれらのイベントを通して「人材」の育成を図ることが有効であるとの認識で一致しました。

地域づくりの主役は、そこに住んでいる住民の一人一人です。たとえ、一人ではむずかしくても、ともに手を携えることで、できることはたくさんあります。「みんなで支えあい みんなでつくる 住みよいみんなの“よしみ”」をつくるためには、ともに助け合う「地域コミュニティ」の存在が大きな役割を果たすことになります。

この計画は、地域づくりのすべてを示しているものではありません。取組を進めていく上で、今後とも住民各層が意見や智恵を出し合い、この計画を補っていくことができれば、さらに素晴らしい地域づくりになるものと思います。

かわいいこども園児の演技



(市島町三ツ塚花しょうぶまつり 三ツ塚史跡公園)

夜空を彩るレーザービーム



(堤防まつり 竹田川河畔)

平成28年4月 発行

吉 見 地 区 自 治 振 興 会

(事務所) 吉見友愛センター

☎669-4322

丹波市市島町上田971番地2

Tel&Fax 0795-85-6007

E-mail yoshimi-jichi@aqua.ocn.ne.jp